

2021年5月20日発売

文化科学高等研究院出版局

ehescbook.com を参照

# 浅利誠 著 ジャック・デリダとの交歓 パリの思索

## デリダとの17年間の交通！

一九八六年からデリダのセミナーに出席し、直接にデリダと対話した著者のパリからの交歓録、その哲学言説。

デリダをアルトンとベンヤミンから照らし出しつつ、ハイデガー問題など、パリで蠢く様々な論者たちの模様を描きながら、デリダの横断的・越境的思考を領有する著者の格闘の奇跡が、デリダ思考そのものと並走するダイナミックな交通史。普遍的に思考するデリダのスタイルに啓発され刺激を受け続けながら、同時にデリダの限界をも感知しながら、新たな思考の地平を、フランス語と日本語との間で開いていく著者の原点は、現代思想の根元を見直すものとして作用している。パリで暮らし生きつづける著者の渾身の思索。

デリダのセミナーを通して、普遍的に思考するデリダのスタイルに啓発された著者は、「問いを立て、その問いを限界まで問い詰めること」をデリダ自身へも向けながら、真の意味での横断的・超国境的視点を求め、デリダから尽きることなき刺激を受け続け、「コブラを持つ言語とコブラを持たない言語におけるコブラとは何か？」なるハイデガーもデリダも回答を与えることができなかつた一級の哲学的問いへと突き進む。

- 序 出会いから最初の発表まで
- 第1章 ハイデガー問題
- 第2章 動じないこと機械のごときデリダが揺れるとき
- 第3章 ベンヤミン
- 第4章 「転回」時におけるベンヤミンへの破格の思い入れ
- 第5章 デリダのセミナー 1984-2003



192 ページ 新書  
定価 本体 1300 円+税  
C0230



デリダと著者

### 浅利 誠 (あさり まこと)

1948年生まれ。文筆家。元ボルドー・モンテーニュ大学言語・文化学部名誉教授。早稲田大学哲学科修士課程修了。新ソルボンヌ大学フランス文学科博士課程修了。(仏) 国立東洋言語・文化研究院日本学科講師・准教授 (1984-2008年)。ボルドー・モンテーニュ大学言語・文化学部教授 (2008-2014年)。パリ在住。シュルレアリスムをベースにした年二回刊行の雑誌 PLEINE MARGE, Editions Peeters - France (1985-2009) の編集メンバー、寄稿多数。主要活動は、比較文法論における日本語文法の世界的寄与の可能性を探ること。

ご注文はJRCへ fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

ジャック・デリダとの交歓

パリの思索

浅利誠著

本体1300円

ISBN 978-4-910131-12-2 C1210 ¥1300F

書店名

部数

既刊新書

赤版 1300円+税 4書2月同時刊行

001 山本哲士 甦えれ 資本経済の力  
文化資本と知的資本

002 矢野雅文 科学資本のパラダイムシフト  
バンデミック後の世界

003 松下和夫 気候危機とコロナ禍  
緑の復興から脱炭素社会へ

黄版 (単行本の新書化)

SONDEOS 101 山本哲士 哲学する日本 544頁 2200円+税

「週刊読書人」  
2月19日号1面に  
新書3者の  
鼎談掲載